

### 放射能測定のこと

先週お伝えしたように、今の日本は生産者の保護と謳って国民に真実を伝えず、そうすることによって東電の責任を曖昧にしています。それは、食の安全にこだわってきた食品流通業者も同じです。国の基準であるセシウム 500Bq/kg 汚染された食品を毎日食べ続けた場合、ドイツ放射線防護協会の計算値では、年間被曝線量は約 10mSv になります。1歳未満の場合は 15mSv という数値になります。(詳しくは本チラシNo.④をご覧ください。お持ちでない方は HP よりご覧いただけます)年間被曝線量 1mSv であっても ICRP によると 3万人に 1人がガンになるという数値です。10 mSv では 3000人に 1人です。毎日食べた場合と言う話ですが、福島やその周辺では、汚染された食品を食べる可能性が高いですし、空気や水からも汚染があるのです。リスクを高めるだけの国の基準に疑問を持ち妥当であるかきちんと検証をすべきではないでしょうか。この放射能汚染の問題は、生産者を支えたいという気持ちではどうにもできないレベルの話です。

弊社では、放射能測定器を購入し、独自で基準を作ることを進めています。

ある宅配業者では、納品した野菜を簡易測定器(表面汚染用サーベイメータ)でダンボールを開けた上から計っているようです。ここでは東北・関東地方の農作物を第三者機関に放射能測定を依頼するなどしており、そこは評価できる部分だと思います。でも、表面汚染用サーベイメータを野菜にあてて測るとするのは国の基準値を超える数値でないと検出されません。私たちも当初は 50万円程で購入できるこの種の測定器を検討しましたが、野菜の検出限界は 1000Bq/kg だったためやめることにしました。作物の放射能を計測するためには空気中の自然放射能を遮蔽すること、計測時間も長く取るなどが実数値を量る上で必要であることが分かりました。 $\alpha$ 線、 $\gamma$ 線、 $\beta$ 線の中でも測れないものがあったり、表面汚染用サーベイメータなんかだと、それだけではセシウムなどの核種を特定できません。測定器の専門知識を持っている方はほとんどいないのですから、測るならどの程度の数値と種類が分かるのかも表示してほしいと思います。そして結局は国の基準に合わせているので、積極的な自主検査も単なるパフォーマンスに過ぎないような気がします。

ピンからキリまである測定器。価格と相談しながら慎重に選ばないといけません。精度のよいゲルマニウム半導体の測定器の場合は約 1500万円もするのでとても手が出ない状況です。東海地方で脱原発の活動をしている方たちと総合的な脱原発のネットワークを立ち上げ、妥当な放射能測定器の購入を検討しています。東海地区で積極的な放射能測定を行なえるような体制作りを考えています。福島原発の事故によって急激な需要の高まりで入荷の遅れもあり、思いの外時間がかかっています。基準値についてはチェルノブイリ救援中部理事の河田昌東さん等と相談をしながら測定器が決まり次第、決定していく予定です。

### 福島原子力発電所事故による商品への影響

**6月5週 8県(福島、栃木、群馬、茨城、千葉、神奈川、岩手、宮城)から入荷する商品。**

**みんなの未来野菜セットとトマト(トマトについては裏面をご覧ください)以外はありません。**

**7月2週**

**2-27 ページ 中津ミートの加工品について**

- 肉団子：牛肉は茨城県産です。6月9日発表の茨城県産牛肉で放射性ヨウ素不検出、放射性セシウム 17Bq/kg です。玉ねぎは神奈川県産もしくは北海道産です。5月24日および26日の神奈川県産のたまねぎのデータでは放射性ヨウ素、セシウムともに不検出。
- 一口カツ：卵は神奈川県産。神奈川県産の卵についてデータはありませんが、福島、茨城、千葉において5月以降放射性ヨウ素、セシウムともに不検出です。
- ふっくらポークハンバーグ：牛乳は神奈川県産。4月18日～6月6日にかけてのデータでは放射性ヨウ素、セシウムともに不検出。卵、玉ねぎは上記参照。
- 中津ミートの豚肉については神奈川県、千葉県産です。厚生労働省発表のデータよりどちらの件の豚肉も放射性ヨウ素、セシウムともに不検出です。